

【企業の例】

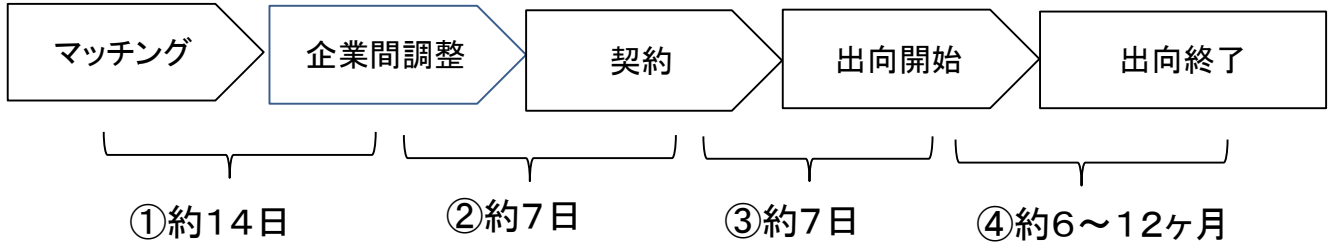
(出向元企業) **A社(製造業)**

- ・勤務状況
 - ・勤務地 富山市
 - ・勤務時間 日勤
 - ・休み(土・日・祝日など) 土日
 - ・製造職種→勤務内容はオペレーター、検査、品質管理など幅広く。
- ・出向人数 複数企業に40人程度
- ・賃金負担割合 0%

(出向先企業) **B社(製造業)**

- ・勤務状況
 - ・勤務地 富山県内 数カ所
 - ・勤務時間 日勤および2交替
 - ・休み(土・日・祝日など)
 - ・製造職種→勤務内容はほとんどの人は、出向元と同じだが一部異なる。
- ・出向人数 3人~26人
- ・賃金負担割合 100%

【マッチングから出向終了までのスケジュール】



【各期間で行ったこと】

① マッチング～調整

- ・出向先と出向する人数や出向先での職、業務内容について打ち合わせ。
- ・出向先の勤務条件等の情報の収集。
- ・賃金負担額の概算について概算を打合せ。

② 調整～契約

- ・出向する従業員の選定、対象者への意向確認。
- ・元、先のお互いの就業規則の確認、詳細な負担金の計算方法など確認し契約。

③ 契約～出向開始

- ・出向対象者へ出向先の工場見学や業務内容のビデオ視聴を実施。
- ・出向後の業務内容について理解を深める。
- ・遠方の勤務先の場合、出向者の居住先の選定・契約、出向者の生活状況の確保に時間を要した。
- ・出向先の受け入れ体制、出向元の担当業務調整を実施。
- ・通勤用の駐車場、社内で使用するロッカーの確認など。

④ 出向開始～出向終了

- ・6ヶ月に1回程度出向元の課長が出向先で出向者へのヒアリング実施するほか、出向者や出向先からの連絡があればその都度臨時にヒアリングをしている。
- ・出向先では、出向者に無理のないように配慮している。一部の出向者には、より経験のある作業内容への変更も実施した。

【出向を実施して良かったこと】

- ・出向先の業務を行うことによる出向者本人のスキルアップを期待している。
- ・出向先で溶接や玉掛けの資格を取得しているとの報告があり、出向終了後の業務への活用が期待できる。
- ・出向終了後に出向先の好事例を出向終了後にレポートを提出させて積極的に自社の業務に取り入れていく予定である。また、休業で自宅待機するより、社員のモチベーション維持の面で効果がある。

【今後も在籍型出向を活用する理由・背景】

- ・コロナウィルス感染拡大による受注低下が要因である。主要製品の受注・生産の落ち込みが回復次第出向を終了していく予定であるが、生産が回復しなければ今後も在籍型出向を継続していく予定である。

【出向を成功させるために取り組んだ内容・背景】

- ・出向先の開拓に積極的に取り組んでおり、労働組合にも同意をとり、労働組合や公的機関への登録により出向先を複数確保し、助成金を利用している事業所以外にも在籍型出向を2社対応している。
- ・出向先の情報を従業員に説明することにより、当社と異なる業界への出向に対し、従業員から申し出があったケースもあった。
- ・【先】主に社長が関連会社や取引先に出向元の開拓を実施した。
- ・【先】県のあっせん機関に登録し、マッチングも実施してもらった。
- ・【先】出向元へ戻ることが前提であるため契約期間を短めにしている。
- ・【先】初回の出向者には外部の講師によるキャリアコンサルティングを1時間実施した。
- ・【先】出向者は出向元で業務経験があるため、出向後に自社機械についての安全衛生教育を実施した後、現場でのOJTで作業に入ってもらった。
- ・【先】もともと派遣社員の受け入れもしており、短期の人材を受け入れることへの抵抗感は現場にもなかったためスムーズに受け入れすることができた。
- ・【先】駐車場、ロッカー等の環境整備も問題はなかった。
- ・【先】出向者に配慮し出向者の賃金体系を出向元のままにした。当社は、取引先の多くが県外であったため、マッチングは公的機関に登録しあっせんを受けた。

【出向についての効果、感想】

- ・コロナ前は関連会社への出向が中心で、製造現場の従業員は出向していなかった。今回コロナの影響により、製造現場の従業員が出向しており、また関連会社以外にも出向している。
- ・【先】自社よりも大きな企業からの受け入れであったため、出向者の技術面、特に道具の取り扱い等の基本作業の面で自社従業員の手本となりスキルアップが図られている。
- ・【先】出向者の業務になれるスピードが早く、現状で満足していた自社従業員のものづくりに対する新しい見方ができておりモチベーションアップの効果もあった。
- ・【先】出向元の需要が回復すれば戻っていくことが前提であり、社会全体で見ると長く続くことは出向元の景気が悪い状態が続いていることなので好ましくないのではとも思っている。
- ・助成金が利用できることによって、出向先の受け入れのハードルが下がり、出向先として持ちかけやすくなり、出向先も受け入れ易くなっていると感じている。
- ・産業雇用安定助成金の手続きは、出向元が出向先の書類も併せて労働局に提出する制度となっており、契約後から出向開始の間に計画届を作成、提出の作業が必要で期限までの処理が大変であった。そのため出向先との調整が必要でその面で労力を要した。